

相樂里さがらのさとは木津きづの坤土師ひつじざるはじの南みなみにあり。〔古事記に曰、ある御神醜陋みかみせうろうの貌かたちを常に悲かなて、山城国相樂やましらのくにさがらに至り樹の枝にかゝりて死しし給たまふ、ゆゑに昔むかしは懸木郡かけきのこほりといひしを今改あらためて相樂さがらといふとかけり〕

万葉 朝霧のほのめかしつ、山城の相樂さがらの山のやまの端を行過ぬれば 高橋朝臣